



■新聞閲覧

編集長が選ぶこのニュース・・・

内閣府調査、環境商品と価格5～10%高なら購入、と回答

内閣府がまとめた04年度の国民生活モニター調査結果によると、「一般の商品より5～10%高い程度であれば環境に配慮した商品を購入する人が約7割」に達していることが判明した。同調査は国民生活モニター2,113人を対象に実施したもので、回答率は94.3%。(織研新聞)

コメント

尾州産地ではこのところ、バンブー、ケナフ、トウモロコシ繊維、柿渋染めなど環境を考慮した商品の開発が進んでいるが、悩みは価格問題だった。同調査によると、消費者が日常の買い物の際、環境に配慮した(消費)行動の妨げになっていることは

「環境に配慮した商品は価格が高い」

67.7%

「環境に配慮した商品の種類や量が少なくて選べない」

47.3%

と応えた人の割合が高い。

環境に配慮した商品が一般の商品に比べて割高の場合の許容範囲は、一般の商品に比べて

「5%高程度なら購入する」 39.0%

「10%高程度なら購入する」 29.9%

で、併せて68.9%となった。

「20%高程度以上でも購入する」 5.0%

「割高ならば購入しない」 22.0%

という回答もあった。

(計は100%にならない)

消費者が環境に配慮した商品を購入しやすくするために、小売業者や製造業者に求めることは

「従来品との価格差をなくす」 71.3%

「商品の簡易法包装を進める」 50.0%

が主なもので、価格に一定の理解を示しつつも、基本価格の抑制と包装によるコストダウンを求める回答が多かった。

このほか、「ちらしなどに環境に配慮した情報(マークなど)を表示する」が9.3%、

「インターネット上で商品の環境配慮に関する情報を提供する」が2.1%あった。

あらゆる繊維の試験にお応えします！

消費者ニーズは多様化、高度化しています。こうした状況に対応した技術改善や商品開発が急務となっています。多様かつ高度な新製品開発を支援するために当センターでは、多様な繊維試験機器を設置し、繊維から糸、編織物などのあらゆる試験に迅速に対応できる体制を整えていますのでご利用ください。

受付：9時から17時15分まで(平日)

・繊維の科学分析・機器分析・繊維の物性試験

・糸の試験・編織物の試験・その他

問合せ先：愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター 一宮市大和町馬引字宮浦35番地

電話 0586-45-7871(代) 内線522

<http://www.owaritex.jp/>

Eメール ouyou@owaritex.jp